

登録コード	E5000900	開講年度	2026				
授業科目	キャリア教育特講					担当教員	安達 仁美
英文授業名	Advanced Lectures on Development of Instruction Career Education					副担当	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	金曜・2時限	対象学生	2-4年生
講義室	教育N 3 0 4 講義室		授業形態	講義	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				⇔	・キャリア教育の授業づくりに関する知識・技能を備え、それらを活用できるようになる。	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				⇔	・キャリア教育を支え、実現する上で不可欠な授業づくりに関する知識・技能を得る。	
(2)授業で学べる「テーマ」	キャリア						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	シラバスに示した内容について、適宜グループワークを取り入れながら事例に基づいた講義を行う。授業の後半には、グループに分かれてキャリア教育の授業を構想し、実際に高等学校で授業を実施し記録をもとに授業分析を行う。						
(5)授業計画	第1回：イントロダクション 第2回：キャリアとは何か？－自分のキャリアを振り返る－ 第3回：キャリアとは何か？－ライフキャリア－ 第4回：授業参観（高等学校1年生） 第5回：進路指導からキャリア教育へ 第6回：キャリア教育に関する政策的動向 第7回：教材研究・教材開発1（素材の検討） 第8回：教材研究・教材開発2（導入の検討） 第9回：教材研究・教材開発3（展開の検討） 第10回：授業の計画 第11回：授業の実施1（導入の検討） 第12回：授業の実施2（展開の検討） 第13回：授業分析 第14回：授業分析発表会/授業アンケート						
(6)成績評価の方法	授業のねらいの到達度を測るために以下を総合して判定する。 ・授業中のディスカッションへの取り組みに関する評価（30%） ・模擬授業に対する取り組み状況（50%） ・レポートによる試験の成績（30%） ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可						
(7)成績評価の基準	・卓越している…キャリア教育の基礎理論について理解を深め、キャリア教育の授業構想に生かしている。 ・かなり上である…キャリア教育の基礎理論を理解し、キャリア教育の授業構想に生かしている。 ・やや上にある…キャリア教育の基礎理論に関心をもち、キャリア教育の授業構想に生かしている。 ・水準にある…キャリア教育の基礎理論に関心をもち、キャリア教育の授業構想に生かそうとしている。						
(8)事前事後学習の内容	授業前には、前時に指示した課題を通して予習を行う。授業後には、授業中に示した課題について取り組む。また高等学校での授業実施前には必要に応じて授業後にグループで集まり授業準備をすることがある。						
(9)履修上の注意	本講義では、グループディスカッションやワークショップ等、自分の考えを述べる場を多く設定する。よって、常に自分なりの問題意識を持って授業にのぞみ、積極的に意見交流してほしい。実際に高等学校で生徒の前に立ち授業を行うため、教育者としての自覚と責任感をもって臨むこと。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	オフィスアワー：メール予約で随時 メールアドレス：adachi@shinshu-u.ac.jp						
【教科書】	未定						
【参考文献】	浦上昌則『キャリア教育へのセカンド・オピニオン』北大路書房（1900円） 三村隆男『キャリア教育入門 その理論と実践のために』実業之日本社（1800円）						